

新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

【永井隆記念館】第8版

令和5年3月13日改正

長崎市平和推進課

● はじめに

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、来館者や施設職員の安全を確保するために、国の方針や「博物館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」（公益財団法人 日本博物館協会）等を踏まえ、感染拡大防止対策について整理したものです。

施設管理者は、本ガイドラインに沿って、具体的な感染拡大防止に取り組み、施設の適切な運営がなされるようお願いいたします。

なお、この指針は、国による「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が見直されたことに伴い改正を行いました。今後も、感染拡大の動向を踏まえ、必要に応じ、適宜改訂を行うこととします。

基本的な考え方

施設管理者は、来館者や施設職員への感染拡大を防止するため、感染拡大のリスクが高いと考えられる①密閉空間（換気が悪い密閉された空間）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発生が行われる）という3つの条件、いわゆる「三つの密」を避けることなどを徹底することとします。

施設管理者が行う具体的な対策

1 従事する職員に関する感染防止策

従事する職員全員の安全確保のために、業務に従事するにあたり、施設管理者及び職員は次の事項を徹底することとしてください。

- ① 施設管理者は、職員の緊急連絡先や勤務状況を把握する。
- ② 職員は、出勤前に自宅で検温を実施し、発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状があるなど体調が悪い場合は、自宅で休養する。
- ③ 職員は、こまめな手洗いやうがい、手指消毒を徹底する。
- ④ 職員は、業務に使用した衣類をこまめに洗濯する。
- ⑤ 施設管理者は、職員に感染が疑われる場合に、保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。

2 来館者に関する感染防止策

来館者の安全確保のために、職員から来館者に対し、次の事項について徹底するよう促してください。

(1) 事前周知・広報

ホームページへの掲載や施設の入口へのチラシの設置により、次のとおり来館していただける方の要件を周知してください。

また、「(2)来館時における確認・依頼事項」についてもホームページに掲載し、事前に周知してください。

【来館にあたってのお願い】

- ① 事前に検温を実施し、発熱していない方や、咳・咽頭痛・息苦しさ・体のだるさなどの症状がないことを確認してください。

(2) 来館時における確認・依頼事項

来館者は、次の事項について協力をお願いします。

また、職員は来館者への声掛けや注意喚起用のチラシにより、来館者に協力を呼び掛けてください。

<玄関・展示室・図書室共通>

- ① 事前に検温を実施してない来館者は検温を実施する。
- ② アルコール消毒液による手指消毒をする。
- ③ 密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を確保する。
- ④ 室内での会話は控えめにする。

<展示室>

- ① ガイドツアーを行う場合は、当面の間、参加者間での接触が避けられ、対人距離を確保できる工夫（ツアーの小規模化、インカムマイクの使用等）を行うこと。
- ② パンフレットはラックなどを使用し各自で取ってもらう。（手渡しは行わない）
- ③ 展示資料・展示ケースには手を触れないようにする。
- ④ 混雑時等、展示室内において、密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を確保できるよう動線を工夫する。その間隔が確保できないと見込まれる場合は、必要に応じ入館や見学時間等を制限する。

<図書室>

- ① 長時間の閲覧をしない。

＜その他イベント及び搬入業者等への対応＞

- ① 館内での平和学習講話および子ども教室を開催する場合は、インカムマイクの使用等により大声の発声を慎むなどの工夫を行うなど、「密閉」「密集」「密接」が確実に回避できる場合に限り、開催すること。
- ② 搬入業者等と直接面会しての会議や打ち合わせは、短時間で行うとともに、十分な換気を行い、相手との距離を保つ(最低限人と人が接触しない程度の間隔)。

3 環境管理に関する感染防止策

職員は、館内の消毒、換気を徹底的に実施し、飛沫感染・接触感染の予防策を講じてください。

また、必要な箇所に注意喚起用のチラシを掲示することや、職員が来館者へ声を掛け、「2 来館者に関する感染防止策」の徹底を図ってください。

＜展示室・図書室共通＞

- ① 各室入口にアルコール消毒薬等を設置し、手指の消毒を徹底する。
なお、手洗いの励行も含め、ポスターの掲出なども行う。
- ② 受付カウンターなど、人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- ③ 来館者から物品や金品を受け渡しする場合は、手渡しではなく、カウンター上で行うこととし、触れる箇所を最小限とする工夫(トレーの使用や手袋の着用など)を行う。
- ④ 来館者の密集が予想される場所についてはフロアマーカを貼付するなど、視覚的にもわかりやすい指示を行い、来館者間の距離を最低限人と人が接触しない程度の間隔に離すこと。
- ⑤ 混雑時等において、職員は、必要に応じて、整理券の発行等により来館者に待機を依頼する場合や、入館や見学時間を制限する場合がある。
- ⑥ 来館者が極力対面することを防ぐため、一方通行となるよう導線の工夫を行う。

＜展示室＞

- ① 展示室は窓が無い場合、避難扉、もしくは排煙窓を開けておく。
- ② ビデオ放映について来館者がいる場合に職員が操作を行うように努めること。
- ③ 物販用の本は、多くの方が触れるようなサンプル品や見本品は極力設置しないようにする。

＜図書室＞

- ① 図書室は自習席側窓、読み聞かせコーナーの窓を適宜の間隔で開けておく。

＜玄関・トイレ＞

- ① 本の返却のみの場合については、玄関に返却用ボックスを臨時に設置し、極力接触を避ける。

- ② 空調機を使用していない場合、玄関自動ドアは常時開けておく。
- ③ 各トイレも支障のない範囲で窓を開けておく。
- ④ 玄関・トイレは混雑が予想されるため、最低限人と人が接触しない程度の間隔を開けるようフロアマーカ―を貼付する。

4 清掃、衛生管理に関する感染防止策

職員は館内の清掃を徹底的に実施し、飛沫感染・接触感染の予防策を講じてください。

- ① 清掃、ごみの廃棄等、衛生管理の際は、マスクやゴム手袋を着用し、作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指の消毒を徹底する。
- ② 多くの人が手を触れる箇所（テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、タッチパネル、蛇口、手すり、カウンターなど）は、毎日開館時、午後2時、閉館時に、丁寧にアルコール消毒（塩素系漂白剤を希釈したものを含む）または水拭き清掃を行うなどして環境衛生を良好に保つ。
- ③ トイレは感染リスクが比較的高いと考えられるため、丁寧にアルコール消毒（塩素系漂白剤を希釈したものを含む）または水拭き清掃を行う。

5 緊急時の対応

緊急時においては、体調不良を訴えた本人、来館者及び職員全員の感染を防ぐため、職員は、必要に応じて保健所等関係機関と連絡調整を行いながら、「長崎市永井隆記念館の施設従事者・来館者に新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者が発生した際の対応に関するガイドライン」に従い、迅速かつ適切な対応を図ってください。また、感染者が発生した場合の館内の消毒についても、保健所の指示のもと、平和推進課と連絡調整を行いながら、適切に実施してください。

- ① 体調不良を訴える人がでた場合は施設長及び平和推進課へ報告する
- ② 具合が悪い人を休養室に移す（十分に換気）
- ③ 対応する職員は、マスク・手袋等の着用を徹底する。
- ④ 聞き取りを行う

[聞き取り項目]

以下のいずれかに該当する場合は、すぐに「かかりつけ医等の身近な医療機関」に電話相談してください。

かかりつけ医を持たない場合は、県ホームページに掲載されている診療・検査医療機関に電話で相談し、どこに相談してよいか分からない場合は、「長崎県受診・相談センター」に相談してください。

- ・息苦しさ
- ・強いだるさ
- ・高熱等の強い症状
- ・重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある

方や、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
妊婦の方も念のため重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者接触者センタ
ーに相談すること

- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

【参考】関係機関連絡先

| 名 称 | 電話番号 | 対応時間 |
|-------------|--------------|-------------------|
| 長崎県受診相談センター | 0120-071-126 | 24 時間 (土日祝も含む) |

問い合わせ先 長崎市平和推進課 貞包・佐藤 095-844-9923